



令和二年卯月

城北中だより

城北中学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 真剣に学ぶ生徒
- 健康な生徒

生徒数

1年	156名
2年	173名
3年	155名
特別支援学級	8名
全校生徒数	492名

学び舎

校長 玉崎 芳行

令和二年度が始まります。我が国では、新しい年度の始まりは、四月が一般化しています。諸説ありますが、そもそもは、明治政府の会計年度制度変遷の中で、1886年（明治19年）に四月始まりとし、時を同じくし、文部省の指示で、高等師範学校が四月始業となり、その後、全国に広がったとされているようです。

さて本校は、今年度、開校五十周年を迎えます。星霜を重ね、1万1800名の卒業生を輩出しています。節目の年度でもあり、これからの半世紀を見据え、新たなスローガンを策定しました。

『自律・進取・友愛の気概溢れる我らが学び舎“チーム城北”の創造』です。

自律とは、自分自身で立てた規範に従って行動すること、

進取とは、従来の慣習にこだわらず、進んで新しいことをしようとする事、

友愛とは、友情を礎に、すべての人を等しく愛すること、

気概とは、自ら進んで困難に立ち向かっていく強い意気を表すこと、と其々受け止めてください。

学び舎とは、嫌いな教科が好きになり、不得意な教科が得意になることです。

学び舎とは、生涯にわたる良き友に出逢えるところです。

学び舎とは、みなさんにとって、心のふるさとになることです。

学び舎とは、人と人とが集団で生活する術（すべ）を学ぶところです。

この春は、いつもの春と様相が異なります。COVID-19 対応で、今まで当たり前であったことが、当たり前でない現実に直面しています。社会的不信感、将来的不安や行き場のない苛立ちなど負の感情が社会を包み込んでしまうような一面も垣間見えるようです。そんな時こそ、私たちが、“人間としての尊厳”を保つために求められるものとは何でしょうか。例えば、正しい情報を取捨選択する力、客観的に物事を分析する力や環境の変化に対応する力、例えば、自らを御する平常心、人を思いやる優しさやコミュニケーション能力、家族や大切な人への感謝など… 少なくとも、それらは、みな“学び舎”ではぐくみ、磨きあい、高めあうことができます。

“学び舎”の存在意義を改めて見つめ重く受け止め、不易と流行の視座を併せ持ち、492名の生徒と46名の教職員一丸となり、『自律・進取・友愛の気概溢れた学び舎“チーム城北”の創造』を目指します。今年度も、何卒よろしくお願ひ申し上げます。